

其の二十四 三浦半島走水港出船のタチウオ

# 東京湾・ドラゴンへの最短距離

テンヤ、テンピンが入り混じる東京湾のタチウオ船団は動きを止めて密集することが多く、独特の風景となる

## 【連載】※月1掲載 船釣りの作法 釣技 食技

ドラゴン級が釣れ盛る「Xデー」はあったものの、秋を迎え大中小混じりというのが現在の東京湾タチウオ事情。テンヤに掛かりにくい小型に翻弄され、中型の元気のよさに驚き、待ち焦がれたドラゴンに歓喜する。見方を変えれば実にタチウオらしい釣れ方で、釣り人は様ざまな手を尽くして楽しんでる。

そんな東京湾でドラゴンを追い求める富所潤さんは「ひとつの釣り方を究め、ブレずに続けること」をドラゴン獲得のカギと考えている。

その釣り方が「省エネバイブレーション」。手順はシンプル。竿先を水平や下下に構え、弾くように小さくシヤクリつつ、竿が下がる瞬間、わずかにリールのハンドルに触れるように巻く。動作は断続的かつ最少限で、テンヤはフラッシングするように小刻みに動き続ける。

東京湾で流行しているバイブレーション釣法の中で最も小さな動作で、効率よくテンヤを動かす。ゆえに「省エネ」というわけだ。

「省エネバイブレーションで大切なのが竿の硬さと感度です。竿が軟らかいとクッションになってしまい、入力に対してテンヤの動きが鈍くなります」

富所さんが手にしているのはシマノ最高峰の新テンヤタチウオロッド「サーベルマスターリミテッド」。2モテ

○富所潤 タチウオをはじめ船釣り全般、ティップエギング、メタルステッゲームなど、船のライトゲーム、「楽しむ釣り」の最先端を行く

